

平成 13 年度 収支決算書

平成 13 年 7 月 1 日から
平成 14 年 3 月 31 日まで

財団法人インターネット協会

収支計算書

平成13年7月1日から

平成14年3月31日まで

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
1 基本財産運用収入	141,000	22,900	118,100	
2 入会金収入	4,500,000	1,600,000	2,900,000	
3 会費収入	56,738,000	48,178,750	8,559,250	
法人賛助会費収入	56,175,000	47,625,000	8,550,000	
個人賛助会費収入	563,000	553,750	9,250	
4 自主事業収入	6,000,000	3,637,457	2,362,543	
セミナー収入	6,000,000	3,261,685	2,738,315	(1,100)
その他の収入	0	375,772	375,772	
5 受託事業収入	0	25,000,000	25,000,000	
(財)ニューメディア開発 協会受託事業収入	0	25,000,000	25,000,000	(15,000,000)
6 雑収入	62,000	306,407	244,407	
7 敷金戻り収入	21,258,000	21,258,240	240	
当期収入合計(A)	88,699,000	100,003,754	11,304,754	(15,001,100)
前期繰越収支差額	0	37,128,596	37,128,596	
収入合計(B)	88,699,000	137,132,350	48,433,350	

(注)

1. 予算額は、平成13年度実行予算額に基づいて算出したものである。
2. 備考欄のカッコ内の金額は、収入の部では、決算額中の未収額、支出の部では、決算額中の未払額をそれぞれ示す(いずれも内数)。

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
1 事業費	58,066,000	61,080,297	3,014,297	
(1) 自主事業費	38,500,000	15,527,061	22,972,939	
国際活動費	12,000,000	4,158,546	7,841,454	(669,500)
教育活動費	8,250,000	0	8,250,000	
出版及び情報提供活動費	7,125,000	4,967,105	2,157,895	
セミナー等開催活動支援費	11,125,000	6,401,410	4,723,590	(131,883)
(2) 受託事業費	0	25,000,000	25,000,000	
(財)ニューメディア開発 協会受託事業費	0	25,000,000	25,000,000	(20,200,000)
(3) 事業管理費	19,566,000	20,553,236	987,236	
人件費(67%)	10,050,000	7,839,006	2,210,994	
賃借料等(55%)	7,898,000	12,540,239	4,642,239	(26,525)
事務諸費	1,618,000	2,384,121	766,121	(499,906)
受託事業費振替額	0	2,210,130	2,210,130	
2 管理費	18,935,000	25,961,580	7,026,580	
人件費(33%)	4,950,000	4,325,718	624,282	(376,674)
賃借料等(45%)	4,048,000	8,682,630	4,634,630	(26,524)
事務諸費	3,737,000	8,061,282	4,324,282	(229,980)
移転諸費	6,200,000	4,891,950	1,308,050	(159,600)
3 固定資産取得支出	0	2,854,530	2,854,530	(310,800)
4 敷金支出	32,500,000	32,484,390	15,610	
5 特定預金支出	718,000	5,718,000	5,000,000	
退職給与引当預金支出	718,000	718,000	0	
基盤安定積立預金支出	0	5,000,000	5,000,000	
当期支出合計(C)	110,219,000	128,098,797	17,879,797	(22,631,392)
当期収支差額(A) - (C)	21,520,000	28,095,043	6,575,043	
次期繰越収支差額(B) - (C)	21,520,000	9,033,553	30,553,553	

正味財産増減計算書

平成13年7月 1日から

平成14年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額	
基本金		
前期繰越基本金(A)		146,000,000
基本金期末残高(B)		146,000,000
基盤安定積立金		
当期増加額(C)		5,000,000
基盤安定積立金期末残高(D)		5,000,000
固定資産充当額		
前期繰越固定資産充当額(E)		1,249,793
固定資産充当額増加額(F)		35,338,920
固定資産充当額戻入額(G)		21,258,240
固定資産充当額減少額(H)		907,847
固定資産充当額期末残高(I)		14,422,626
次期繰越金		
1.増加原因の部		
(1)基本財産運用収入	22,900	
(2)入会金収入	1,600,000	
(3)会費収入	48,178,750	
(4)自主事業収入	3,637,457	
(5)受託事業収入	25,000,000	
(6)雑収入	306,407	
(7)固定資産充当額戻入額	21,258,240	
増加額合計		100,003,754
2.減少原因の部		
(1)事業費	61,080,297	
(2)管理費	25,961,580	
(3)退職給与引当金繰入額	718,000	
(4)固定資産充当額繰入額	35,338,920	
(5)基盤安定積立金繰入額	5,000,000	
減少額合計		128,098,797
差引当期減少額(J)		28,095,043
前期繰越次期繰越金(K)		37,128,596
次期繰越金期末残高(L)		9,033,553
当期正味財産減少額(C)+(F)-(G)-(H)-(J)		9,922,210
前期繰越正味財産額(A)+(E)+(K)		184,378,389
期末正味財産合計額(B)+(D)+(I)+(L)		174,456,179

貸借対照表

平成14年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
(1) 普通預金	18,469,326	(1) 未払金	22,631,392
(2) 未収金	15,001,100	(2) 前受会費	3,011,000
(3) 立替金	111,537	(3) 預り金	368,327
(4) 前払費用	1,462,309	流動負債合計	26,010,719
流動資産合計	35,044,272		
2. 固定資産		2. 固定負債	
基本財産		(1) 退職給与引当金	718,000
(1) 基本財産引当預金	146,000,000	固定負債合計	718,000
基本財産合計	146,000,000	負債合計	26,728,719
その他の固定資産		正味財産の部	
(1) 基盤安定積立預金	5,000,000	(1) 基本金	146,000,000
(2) 建物附属設備	1,704,780	(2) 基盤安定積立金	5,000,000
(3) 什器備品	1,343,912	(3) 固定資産充当額	14,422,626
(4) 電話加入権	147,784	(4) 次期繰越金	9,033,553
(5) 敷金	11,226,150	正味財産合計	174,456,179
(6) 退職給与引当預金	718,000	(うち当期正味財産減少額)	(9,922,210)
その他の固定資産合計	20,140,626		
固定資産合計	166,140,626	負債及び正味財産合計	201,184,898
資産合計	201,184,898		

財産目録

平成14年3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
資産の部			
1.流動資産			
(1)普通預金			
三井住友銀行 新宿御苑前支店		18,469,326	
(2)未収金			
未収自主事業収入	1,100		
未収受託事業収入	15,000,000	15,001,100	
(3)立替金			
職員社会保険料		111,537	
(4)前払費用			
賃借料、通勤費		1,462,309	
流動資産合計			35,044,272
2.固定資産			
(1)基本財産			
定期預金			
三井住友銀行 日比谷通支店	56,000,000		
東京三菱銀行 新橋支店	30,000,000		
第一勧業銀行 新橋支店	30,000,000		
UFJ銀行 新橋支店	30,000,000	146,000,000	
(2)その他の固定資産			
基盤安定積立預金			
普通預金 三井住友銀行 新宿御苑前支店	5,000,000		
建物附属設備			
間仕切	1,704,780		
什器備品			
プロジェクター、ビジネスホン、 パソコン、シュレッダー、椅子	1,343,912		
電話加入権			
電話2本	147,784		
敷金			
新橋フロンティアビルディング6F	11,226,150		
退職給与引当預金			
普通預金 三井住友銀行 新宿御苑前支店	718,000	20,140,626	
固定資産合計			166,140,626
資産合計			201,184,898

科目	金額		
負債の部			
1.流動負債			
(1)未払金			
未払自主事業費	801,383		
未払受託事業費	20,200,000		
未払事業管理費	526,431		
未払管理費	792,778		
未払固定資産取得費	310,800	22,631,392	
(2)前受会費			
賛助会費		3,011,000	
(3)預り金			
源泉所得税ほか		368,327	
流動負債合計			26,010,719
2.固定負債			
(1)退職給与引当金			
職員計2名に対する分		718,000	
固定負債合計			718,000
負債合計			26,728,719
差引正味財産			174,456,179

計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

有形固定資産……定額法によって減価償却している。

(2) 引当金の計上基準について

退職給与引当金……当期末に在籍している職員に対する当期末現在の退職給与の要支給額の100%相当額を計上している。

(3) 資金の範囲について

資金の範囲には現金、普通預金、未収会費、未収金、立替金及び前払費用並びに未払金、前受会費及び預り金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記3.に記載するとおりである。

(4) 収益事業について

事業収入のうち、受託事業収入の全額は、法人税法上の収益事業に該当するものとして、所定の手続きに従い処理している。ただし、本計算書類においては、その経理は他の一般の事業収入の分と合算して計上し、税法上は関係の数字を抽出して整理のうえ申告している。

(5) 消費税の会計処理について

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高
定期預金	146,000,000	0	0	146,000,000

3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
(流動資産)		
現金	86,547	0
普通預金	73,384,378	18,469,326
未収会費	14,400,000	0
未収金	5,200,000	15,001,100
立替金	1,107,992	111,537
前払費用	0	1,462,309
流動資産合計(1)	94,178,917	35,044,272
(流動負債)		
未払金	5,695,571	22,631,392
前受会費	51,354,750	3,011,000
預り金	0	368,327
流動負債合計(2)	57,050,321	26,010,719
次期繰越収支差額(1)-(2)	37,128,596	9,033,553

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	1,722,000	17,220	1,704,780
什器備品	1,392,062	48,150	1,343,912
合計	3,114,062	65,370	3,048,692

5. 資産及び負債の科目別増加額及び減少額は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	金額	
1 増加の部		
(1) 資産増加額		
未収金	9,801,100	
前払費用	1,462,309	
基盤安定積立預金	5,000,000	
建物附属設備	1,704,780	
什器備品	241,903	
敷金	11,226,150	
退職給与引当預金	718,000	
(2) 負債減少額		
前受会費	48,343,750	
増加額合計		78,497,992
2 減少の部		
(1) 資産減少額		
現金	86,547	
普通預金	54,915,052	
未収会費	14,400,000	
立替金	996,455	
(2) 負債増加額		
未払金	16,935,821	
預り金	368,327	
退職給与引当金	718,000	
減少額合計		88,420,202
差引正味財産減少額		9,922,210

6. その他

- (1) 正味財産増減計算書の様式は、フロー式を採用し、貸借対照表における「正味財産」の科目ごとにそれぞれの増加額及び減少額を発生原因別に表示する方法をとっている。
- (2) 貸借対照表における「正味財産」の科目を「(1) 基本金」、「(2) 基盤安定積立金」、「(3) 固定資産充当額」及び「(4) 次期繰越金」に区分している。
- (3) 「(1) 基本金」は「基本財産」に対応するものである。
- (4) 「(2) 基盤安定積立金」は、当協会の運営基盤を安定させるために「正味財産」(「(1) 基本金」を除く。)に属する資金を充当して積み立てた額であり、「基盤安定積立預金」に対応するものである。

(5)「(3)固定資産充当額」は、「正味財産」(「(1)基本金」及び「(2)基盤安定積立金」

を除く。)に属する資金に充当して取得した固定資産の帳簿価額に対応する額である。当期末における対応関係は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
建物附属設備	1,704,780	固定資産充当額	14,422,626
什器備品	1,343,912		
電話加入権	147,784		
敷金	11,226,150		
合計	14,422,626	合計	14,422,626

(6)「(6)次期繰越金」は、「正味財産」のうち上記の「(1)基本金」、「(2)基盤安定積

立金」及び「(3)固定資産充当額」の合計額以外の額であり、「正味財産」に属する資金のうち、運用又は用途の拘束されていない金額を示している。

(7)収支計算書における「次期繰越収支差額」は、下記のとおり貸借対照表における「次期繰越金」と同額である。

(単位:円)


収支計算書		貸借対照表	
次期繰越収支差額	9,033,553	次期繰越金	9,033,553

監査報告書

平成14年6月7日

財団法人 インターネット協会
理事長 秋草 直之 殿

東京都世田谷区船橋4丁目22番24号
若林公認会計士事務所
公認会計士

若林 茂信 

私は、財団法人インターネット協会の平成13年7月1日から平成14年3月31日までの平成13事業年度の計算書類、すなわち収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録について監査を行った。

この監査に当たって、私は、一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠し、通常実施すべき監査手続を実施した。

監査の結果、法人の採用する会計処理の原則及び手続は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準及び寄附行為に準拠し、かつ、前事業年度と同一の基準に従って継続して適用されており、また、計算書類の表示方法は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているものと認められた。

よって、私は、上記計算書類が財団法人インターネット協会の平成13事業年度の収支及び正味財産増減の状況並びに同事業年度末日現在の財産状態を適正に表示しているものと認める。

財団法人インターネット協会と私との間には、公認会計士の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監事意見書

財団法人インターネット協会寄附行為第13条第1項の規定に基づき、平成13年度の本財団の事業報告書、収支決算書（収支計算書、正味財産増減計算書及び貸借対照表）及び財産目録について、監査した結果、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

平成14年6月10日

財団法人インターネット協会

監事

三輪行雄



監事

宝田義行

